

2. モニタリング調査

供用後 3 年目のオオタカ、サンバの調査結果をまとめるとともに、過年度の結果との比較及び考察を行った。

1) オオタカ

ア. 調査結果（供用後 3 年目）

モニタリング調査で対象とする [] 及び [] におけるオオタカの確認状況の概況を表 3-7-1 に整理した。対象地域全域でのオオタカの確認状況を図 3-7-1 に示す ([] は事後調査の対象)。また、[]、[] における確認状況の詳細を図 3-7-2 に示す。

表 3-7-1 オオタカの確認状況の概況（供用後 3 年目）

地区	確認状況
[]	供用後 3 年目は、周辺でオオタカは確認されなかった。
[]	供用後 3 年目は、No. 3 の巣が新たに発見され、巣立った幼鳥が確認されるなど、繁殖が確認された（写真 3-7-1）。 確認例数は、4 月に成鳥 2 例、5 月に 3 例、6 月に 15 例、7 月に幼鳥 2 例を含む 6 例が確認された。

図 3-7-1 オオタカの確認状況（全域）

図 3-7-2(1) オオオタカ繁殖及び出現状況（)

図 3-7-2(2) オオオタカ繁殖及び出現状況（)

写真 3-7-1 営巣地の状況（オオタカ No. 3）（供用後 3 年目）

貴重種保護の観点から確認位置・記録等については公表しないこととしています

イ. 考察（供用後 3 年目及び供用後 3 年間の総括）

(7) [REDACTED]

環境影響評価時の調査から施工時の平成 19 年度まで繁殖が成功していたが、施工時の平成 20 年度～21 年度は、営巣は確認されるものの繁殖までは至っていない。

また、鉄道供用後（平成 22 年 7 月以降）の確認状況については、飛翔は確認されるものの営巣は確認されなくなり、供用後 3 年目については飛翔も確認されていない。

鉄道供用後に営巣が確認されなくなったものの、影響のインパクトが大きいと考えられる工事の最盛期には繁殖または繁殖行動が確認されていたことから、鉄道施設の存在による影響は極めて小さいと考える。

(4) [REDACTED]

環境影響評価時の調査から飛翔は確認されるものの、繁殖行動は確認されていなかったが、供用後 3 年目に初めて繁殖が確認された。

鉄道供用後に、対象事業実施区域から [REDACTED] の位置で繁殖または繁殖行動が確認されていることから、鉄道施設の存在による影響は極めて小さいと考える。

2) サシバ

ア. 調査結果（供用後 3 年目）

モニタリング調査で対象とする[]、[]及び[]におけるサシバの確認状況の概況を表 3-7-2 に整理した。対象地域全域でのサシバの出現状況を図 3-7-3 に示す（[]は事後調査の対象）。また、各地区における確認状況の詳細を図 3-7-4～6 に示す。

表 3-7-2 サシバの確認状況の概要（供用後 3 年目）

地区	確認状況
[]	供用後 3 年目は、巣 No. 16、17 の 2 巣で営巣が確認された（写真 3-7-2～3-7-3）。いずれも新たに確認された巣である。 巣 No. 16 では、5 月に餌運びが 2 例、7 月に巣立ち幼鳥 2 個体が確認され、巣 No. 17 では、6 月に餌運び 2 例、7 月に餌運び 1 例、幼鳥 2 個体が確認された。幼鳥の確認時期は、7 月下旬であり、飛翔分散の時期であるため、当該巣の個体とは断定出来なかったが、餌運びが確認されていることから、繁殖に成功した可能性がある。
[]	供用後 3 年目は、新たに巣 No. 9 の 1 巣で営巣が確認された。（写真 3-7-4）。 巣 No. 9 では、5 月に餌運び 2 例、6 月に餌運び 1 例、巣内でヒナ 1 個体が確認された。7 月には幼鳥 1 個体と連れ立って飛翔する成鳥 2 個体が確認され、繁殖に成功した可能性がある。 また、No. 8 周辺では、5 月及び 6 月にサシバの出現が確認されているが、餌運び等の繁殖に直接係わる行動は確認されておらず、繁殖の成否は不明であった。
[]	供用後 3 年目は、巣 No. 15、17 の 2 巣で営巣が確認された（写真 3-7-5～3-7-6）。巣 No. 17 は新たに確認された巣である。 巣 No. 15 では、餌運びが 4 月、6 月及び 7 月に確認された。6 月には、巣内でヒナ 1 個体が確認された。7 月には幼鳥が確認され、繁殖に成功したものと考えられる。 巣 No. 17 では、5 月に排斥行動（対象は他地域に生息していると思われるサシバ）、6 月には餌運び、7 月には餌運び及び幼鳥が確認され、繁殖に成功したものと考えられる。

図 3-7-3 サシバの確認位置（全域）

図 3-7-4 サシバ繁殖及び出現状況（）

図 3-7-5 サシバ繁殖及び出現状況（）

図 3-7-6(1) サシバ繁殖及び出現状況（）

図 3-7-6(2) サシバ繁殖及び出現状況（）

写真 3-7-2 営巣地の状況（サシバ巣 No. 16）（供用後 3 年目）

写真 3-7-3 営巣地の状況（サシバ巣 No. 17）（供用後 3 年目）

写真 3-7-4 営巣地の状況（サシバ巣 No. 9）（供用後 3 年目）

写真 3-7-5 営巣地の状況（サシバ巣 No. 15）（供用後 3 年目）

写真 3-7-6 営巣地の状況（サシバ巣 No. 17）（供用後 3 年目）

貴重種保護の観点から確認位置・記録等については公表しないこととしています

イ. 考察（供用後 3 年目及び供用後 3 年間の総括）

■■■■■においては、環境影響評価時の調査から供用後 3 年目まで毎年 2～3 地点の繁殖または繁殖行動が確認されており、対象事業実施区域から■■■■■の位置で複数年繁殖している。

■■■■■においては、施工時の平成 21 年度より毎年 1～2 地点の繁殖が確認されている。

■■■■■においては、環境影響評価時の調査から供用後 3 年目まで毎年 2～3 地点の繁殖または繁殖行動が確認されている。

各地区共に、鉄道の供用後も継続して繁殖を実施しており、鉄道施設の存在による影響は極めて小さいと考える。